

姫路と高砂の女性 国際協力に出発へ

姫路市長にあいさつ

青年海外協力隊などの一員として国際協力機構（JICA）から海外に派遣される2人が15日、姫路市役所を訪れ、石見利勝市長へ出発のあいさつをした。

訪れたのは、青年海外協力隊員に任命され、サモアに1年9カ月派遣される小学校教諭、藪本佐和子さん（37）＝同市安富町安志、写真右＝と、日系社会シニアボランティアとしてドミニカ共和国に2年間派遣される看護師、小柳清美さん（58）＝高砂市伊保崎南、同左。

藪本さんは、学生時代か



ら海外での活動を夢見ていたといい、「日本とサモアの子どもたちとの橋渡し役になりたい」。小柳さんは現地の日系人の在宅介護にあたる予定で「現地の方の話をよく聞き、ともに成長したい」と話した。

2人は今月27日に現地へ出発するという。